



国際
シンポジウム

The City in South Asia

平成22年

7 | 18日・19日・祝・20日

国立民族学博物館2階
第4セミナー室

参加自由
参加費無料

定員
40名

(但し、定員を超えたときには入場をお断りすることがあります)

主催 MINDAS (人間文化研究機構「現代インド地域研究」
国立民族学博物館拠点)

共催 国立民族学博物館
エジンバラ大学南アジア研究センター

代表 MINDAS 拠点代表
三尾 稔 (国立民族学博物館研究戦略センター准教授)
国立民族学博物館外国人客員教授
クリスピン・ベイツ

南アジアの都市性

グローバル化と経済発展が進展する中で、南アジアの都市は人口や規模が急拡大すると同時に、その社会・文化的構造も大きく変貌を遂げています。

このシンポジウムでは、伝統的な南アジアの都市の特性を形づくってきた要件は何か、それは今後どのように変化しようとしているのか、また都市住民はこの変化にどう対応しているのかといった問題に、内外の人類学者、社会学者、政治学者、歴史学者、建築学者らの討論によって迫ります。(詳細は裏面をご覧ください)



このシンポジウムは、人間文化研究機構地域研究推進事業「現代インド地域研究」国立民族学博物館拠点主催の第1回国際シンポジウムとして、同拠点と研究交流関係にあるエジンバラ大学南アジア研究センターとの共催で企画されました。

またシンポジウムの内容の一部は、日本学術振興会科学研究費補助金基盤(A)「南アジア地域における消費社会化と都市空間の変容に関する文化人類学的研究」ならびに国立民族学博物館共同研究「南アジアの都市の人類学的研究」の成果公開の一環となっています。

人間文化研究機構「現代インド地域研究」 人間文化研究機構は、日本にとって学術的・社会的意義の大きい地域の文化、社会を総合的に理解、解明するため拠点ネットワーク型の地域研究を推進しています。

「現代インド地域研究」はこのプロジェクトの第3弾として今年4月から本格始動しました(詳しくは、<http://www.indas.asafas.kyoto-u.ac.jp/>をご覧ください)。国立民族学博物館もこのネットワークに加わって研究拠点を設置し、現代南アジアの文化と宗教の動態の解明をテーマに研究を進めています。

エジンバラ大学南アジア研究センター 南アジア研究センターは、エジンバラ大学社会科学・政治科学学院に設置され、人類学・歴史学・政治学・経済学・社会学・言語学・宗教学等の30名を超える研究スタッフにより、学際的な研究プロジェクトの実施、若手研究者の育成にあたる、世界有数の南アジア研究センターです。国立民族学博物館とエジンバラ大学は今年5月に研究交流協定を締結しましたが、そのもとで同センターと「現代インド地域研究」国立民族学博物館拠点は、研究者の交流、国際シンポジウムの共同開催などの研究交流事業を進めています。

お問い合わせ先

国立民族学博物館 研究協力課 国際協力係

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
TEL:06-6878-2151 <http://www.minpaku.ac.jp/>

国際シンポジウム

The City in South Asia 南アジアの都市性

1990年代以降急速に進む南アジアと域外との人・モノ・情報の往還がもたらす価値観の著しい変容や社会変動は、グローバル化の前線である都市において最も顕著に現れています。一方、この変化を背景としたアイデンティティ・ポリティクスの深刻化、貧富の格差の拡大や、これらを背景とした暴力紛争の都市部での頻発といった問題も生じています。この傾向は都市部から村落部に徐々に波及しているため、都市の社会・文化の変容動態の解明は、この地域の将来を考える上で重要課題となっています。

今回のシンポジウムでは、このような問題意識を共有するインドや英米の第一線の研究者を招へいし、国内の研究者と議論を深め、南アジアの都市社会に関する具体的な調査データに基づき、都市の変容の背景や今後の方向性について多角的に考察します。

スケジュール

報告・討論は全て英語で行います。通訳はありません。出席者の都合によりスケジュールの一部が変更になることがあります。あらかじめご了承くださいませようお願いします。

第1日

午前 9.30 受付
午前 10.30 ~ 午前 11.00 Opening Session
午後 11.00 ~ 午後 12.30

Theme 1: City Structure and Planning
Panel 1A: The Formation of the Indian City

午後 12.30 ~ 午後 2.00 昼食休憩
午後 2.00 ~ 午後 5.00

Panel 1B: Town planning: Early Colonial Planning
Theme 2: Urban Identity and Religious Transformation
Panel 2A: Perception of the City

午後 5.00 ~ 午後 6.00 Film Session 1

7月18日(日)

第2日

午前 9.30 ~ 午後 1.00
Panel 2B: The Sacred and the Civic
Panel 2C: Changing Religious Practices in the City

午後 1.00 ~ 午後 2.00 昼食休憩
午後 2.00 ~ 午後 5.00

Theme 3: The Political Economy of Space
Panel 3A: The Politics of Language
Panel 3B: Subaltern Spaces

午後 5.00 ~ 午後 6.00 Film Session 2

7月19日(月・海の日)

第3日

午前 10.00 ~ 午後 12.30
Panel 3C: Citizens and Peoples' Rights
Theme 4: Networks, Consumption and Popular Culture
Panel 4A: Mobilizing the Neighbourhood

午後 12.30 ~ 午後 1.30 昼食休憩
午後 1.30 ~ 午後 4.00

Panel 4B: Consumer Culture
Concluding Discussion

7月20日(火)

主な出席予定者

(出席者が変更になることがあります。あらかじめご了承ください。)

海外からの出席予定者

Sandeep BANERJEE (Syracuse University)、Crispin BATES (University of Edinburgh)、Solomon BENJAMIN (National Institute of Advanced Study, Bangalore)、Roma CHATTERJI (University of Delhi)、Markus DAECHSEL (Royal Holloway College)、Partho DATTA (University of Delhi)、Parvis GHASSEM-FACHANDI (Rutgers University)、Lotte HOEK (University of Edinburgh)、Deepak MEHTA (University of Delhi)、Gopalan RAVINDRAN (University of Madras)、Paromita VOHRA (Film Maker)

国内の出席者

井坂理穂(東京大学)、池亀彩(人間文化研究機構)、太田信宏(東京外国語大学)、押川文子(京都大学)、金谷美和(国立民族学博物館)、小磯千尋(兵庫医療大学)、小牧幸代(高崎経済大学)、小松原秀信(立教大学大学院)、アントニサーミ・サガヤラージ(南山大学)、杉本良男(国立民族学博物館)、高田峰夫(広島修道大学)、外川昌彦(広島大学)、中谷純江(鹿児島大学)、中谷哲弥(奈良県立大学)、深尾淳一(映画専門大学院大学)、松尾瑞穂(新潟国際情報大学)、松川恭子(奈良大学)、三尾 稔(国立民族学博物館)、森本 泉(明治学院大学)、八木祐子(宮城学院女子大学)、山田協太(京都大学)、柳沢 究(究建築研究室)、山根 周(滋賀県立大学)

代表プロフィール

三尾 稔

インド西部ラージャスターン州、グジャラート州を中心にフィールドワークを行い、社会変化と民衆の宗教文化の関係を主たるテーマとした文化人類学的な研究を継続している。近著に、「インド刺繍布のきらめきーバシン・コレクションに見る手仕事の世界」(昭和堂、2008年)がある。

クリスピン・ベイツ (Crispin Bates)

エジンバラ大学歴史学古典学考古学研究科准教授、同大学前南アジア研究センター長、現国立民族学博物館外国人客員教授。中央インドのアディヴァシと農民の歴史、インドのナショナリズム、経済史、ポスト植民地主義、サヴァルタン性、移民、ディアスポラ、初期人類学などの研究をしている。近著に Subalterns and Raj (Routledge, 2007) がある。

交通のご案内

* 国立民族学博物館(みんぱく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。

「みんぱく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。



●大阪モノレール

「万博記念公園駅」下車徒歩約15分
(展示をご覧になる方は、みんぱくの観覧券をゲートにてお買い求めになれば無料で通行できます。)

「公園東口駅」下車徒歩約15分
(「公園東口駅」からは自然文化園を通過せずに来館できます。)

●バス

(近鉄バス) (阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約20分
JR 茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分
(阪急バス) (万博記念公園駅経由千里中央行き)
阪急茨木市駅から約20分、JR 茨木駅から約10分
「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分

●タクシー

万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分

●自動車

駐車施設が無い「みんぱく」への車の乗り入れはできません。万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

* 「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。



お問い合わせ先

国立民族学博物館

〒565-8511

大阪府吹田市千里万博公園10番1号

TEL:06-6878-2151

http://www.minpaku.ac.jp/